

2024  
MIYAGI  
RECRUIT  
GUIDE

宮城県職員ガイド



みやぎの未来を、クリエイト。

宮城県職員募集2024

農芸化学

# 業務紹介

## ◆ 概要

食品衛生対策、廃棄物行政、公害防止対策  
再生可能エネルギー関連の企画立案  
試験研究・検査

## ◆ 勤務先

本庁各課

地方機関（保健所、保健環境センター、環境放射線監視センターなど）

※食品衛生監視員について 農芸化学職の場合

食品衛生の担当ができる場合／できない場合があります。

食品衛生監視員になるための単位を大学で取得している必要があります。

# 自己紹介

- ◆ 出身 : 岩手県
- ◆ 入庁までの経歴 : H30.3 大学院卒業  
H30.4 入庁

## 入庁後の異動歴（現在入庁7年目）

- H30.4～ **保健福祉部 気仙沼保健福祉事務所 食品薬事班**  
食品営業許可、食中毒調査など
- R3.4～ **保健福祉部 仙南保健福祉事務所 環境廃棄物班**  
大気汚染防止法、水質汚濁防止法、土壌汚染対策法など
- R5.4～ **環境生活部 竹の内産廃処分場対策室 対策班**  
竹の内産廃処分場の維持管理・モニタリングなど

# 志望動機

## ◆ なぜ公務員？

学生時代の専攻を生かせる仕事をしたかった  
事務、現場、研究などを幅広く経験できる

## ◆ なぜ宮城県庁？

学生時代に居住した宮城県に愛着がわいた  
東北のリーダーは宮城県という印象があった

# これまでに担当した業務の紹介

## ◆ 気仙沼保健福祉事務所 食品薬事班

食品衛生法に基づく営業許可事務、施設指導

食中毒疑い事案や不良食品の調査

## ◆ 仙南保健福祉事務所 環境廃棄物班

大気汚染防止法、水質汚濁防止法等に基づく届出審査、施設指導

(新型コロナウイルス感染症関連業務)

# 現在の担当業務の紹介

## ◆ 竹の内産廃処分場対策室 対策班

### 竹の内産廃処分場の維持管理・モニタリング

産業廃棄物処理基準に違反して埋立が行われ、水質の悪化や硫化水素ガスの発生などの支障が生じており、宮城県が行政代執行により管理している

所在地：村田町沼辺竹の内地内



地下水・発生ガスなどの環境モニタリング



評価委員会の運営



# 入庁前のイメージとのギャップ

## ◆ 入庁前のイメージ

事務作業やルーチンワークが多そう

## ◆ 入庁してみたら・・・

現場に出ることが多い、緊急時対応もある  
地域目線の仕事も県全体を見据えた仕事もあり幅広い

# 仕事をする上で心がけていること

## ◆ ほう・れん・そう（報告・連絡・相談）

同僚や上司との情報共有が重要

ひとりで仕事をしているわけではないことを意識する

## ◆ 分からないことでも自分なりの考えをもつ

自分で考えることで、何も考えずに教えてもらうだけより身につく



# 印象に残っている業務

- ◆ 気仙沼での勤務時、街の復興が進み新たな店がどんどん出店する時期で、食品の営業許可相談も件数が多かった。
- ◆ 相談を受けた店が営業を始めていき、復興に携わることができた実感があった。

# 仕事のやりがい

- ◆ 地方機関では、県民と近い目線で仕事ができる  
相談対応などで県民と関わることが多い
- ◆ 県庁では、広い視点で仕事ができる  
予算編成など、地方機関よりスケールの大きい仕事がある

# 職場の雰囲気

- ◆ 廃棄物関連の他の課室と同じフロアに配置されており、物理的にも心理的にも壁がなく、所属を超えて相談しやすい雰囲気がある
- ◆ 農芸化学職だけでなく、行政職、薬剤師、土木職、警察など幅広い職種職員がおり、見識を広められる

# 宮城県職員の魅力

## ◆ 宮城県民の生活を支える仕事ができる

特に農芸化学職は環境系や保健所の仕事が多く、県民生活に直結する

## ◆ ワークライフバランスを両立できる

育児休暇やフレックス制をうまく利用している職員が多い（体感ですが）

# 私の公務員試験対策

- ◆ 一般教養は参考書で勉強  
(特に数的処理、判断推理などを重点的に)
- ◆ 専門科目は大学院入試と同程度なので、院試の勉強をする
- ◆ 毎日コツコツとやる

# 先輩職員からのメッセージ

- ◆ 農芸化学職は、今までに学んだ知識を活かして仕事ができる
- ◆ 研修制度など、意欲ある職員をサポートする制度もある
- ◆ 県民生活に直結する大切な仕事を担っている

将来、宮城県職員として出会えることを楽しみにしています！